

令和6年9月25日

江別市立対雁小学校
保護者の皆様

江別市立対雁小学校
校長 後藤 章夫

令和6年度 全国学力・学習状況調査
本校児童の状況分析及び改善策(学校改善プラン)について

秋冷の候、保護者の皆様には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃より本校の教育活動に対しまして、ご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。

さて、今年度4月18日に行われました全国学力・学習状況調査の結果につきまして、保護者の皆様にその概要並びにこれからの方向性「学校改善プラン」をお知らせいたします。

なお、今回の調査結果は、あくまでも本校6年生の学力・学習状況の一面をとらえたものであり、学力や生活の全てではないことを申し添えます。

1. 学習における概要(全国・全道平均の正答率と比べています。)

「上回っている」：5%以上上回っている場合

「やや上回っている」：1～5%上回っている場合

「同様である」：同等あるいは0～1%上回っている場合や下回っている場合

「やや下回っている」：1～5%下回っている場合

「下回っている」：5%以上下回っている場合

対雁小学校児童の領域別理解度

教科	領域	全道平均との比較	全国平均との比較
国語	話すこと・聞くこと	上回っている	やや上回っている
	書くこと	同様である	やや下回っている
	読むこと	同様である	同様である
算数	数と計算	上回っている	やや上回っている
	図形	やや上回っている	やや上回っている
	変化と関係	やや上回っている	やや下回っている
	データの活用	やや上回っている	同様である

<国語・算数共通>

○無回答がとても少なく、粘り強く取り組めていました。

<国語>

○漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる問題について、大変よくできていました。

○文の中における主語と述語との関係を捉えることができるかどうかをみる問題について、大変よくできていました。

○話し言葉と書き言葉との違いに気付くことができるかどうかをみる問題について、大変よくできていました。

●書き表し方を工夫することができるかどうかをみる問題について課題が見られました。

<算数>

○除数と商の大きさの関係について理解しているかどうかをみる問題について、大変よくできていました。

○計算に関して成り立つ性質を活用して、計算の仕方を考察し、求め方と答えを式や言葉を用いて記述できるかどうかをみるが大変よくできていました。

●問題場面の数量の関係を捉え、式に表すことができるかどうかをみる問題に課題が見られました。

(具体例 裏面参照)

2. 児童質問紙調査における概要

- 「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか」と答えた児童が、全国平均を大きく上回り、担任との良い関わりの中で、充実した学校生活を送れていることが伺えます。
- 「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」「人の役に立つ人間になりたいと思う」と答えた児童が全国平均を大きく上回り、心の成長が感じられます。
- 「早寝・早起き・朝ごはん」等の生活リズムに関しては、改善の傾向が見られます。
- 「5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか」という質問に肯定的に答えた児童が全国平均を下回りました。

3. 改善に向けて（さらに向上していくために）

- ◇今後も、基礎的な学力が確実に定着できるように、日常の学習をはじめ、AIドリルを積極的に活用するなど継続的に取り組んでいきます。
- ◇算数の数量関係を捉えて立式する場面では、「少ない」「減った」などの言葉につられることなく、問題の文脈に沿って図などに表すことを通して数量の関係を捉え、正しく式に表すことができるように丁寧に指導していきます。
- ◇本校児童の伝統的な良さである「他者への思いやりの心」が、今年度もしっかり児童の中に定着していることに安堵するとともに、今後もその良き伝統を学校全体で大切にしていきます。

4. これからの方向性「学校改善プラン」（概略）

本校では全国学力・学習状況調査や標準学力調査の結果をもとに学力向上をめざして、次のようなプランを立てて改善策に全校で取り組んでおります。

- | |
|---|
| <p>①ほぼすべての授業で、対話を重視した授業改革の推進、ICTを活用して迅速に児童の考えを把握・理解できる機会の提供</p> <ul style="list-style-type: none">○ICT実践活用校内研修の充実○積極的な対話を重視した授業の推進、ICTの有効活用○教師間での積極的な授業実践交流 <p>②伸びしろ層の確実な把握と具体的な手立ての実施</p> <ul style="list-style-type: none">○学力テスト・チャレンジテストを活用した伸びしろ層の把握と、伸びしろ層を巻き込む対話的な学びの実践○AIドリルの有効活用や1時間の中での習熟の時間の意図的な確保、朝学習・学習サポーター・学生ボランティア等の人的資源を活用した苦手克服支援○学力テストで全校平均を下回った単元の見える化 <p>③承認を基軸とした生徒指導・学習環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none">○教師の「褒めること」への意識化○褒めることによる児童の望ましい行動の促進、安心して過ごせる学級づくりの推進 |
|---|

5. 参考資料（よくできた設問・あまりできなかった設問の例）

【国語】

【高山さんの文章】

みんな仲良し「たてわりはん」

わたしたちの学校には、1年生から6年生まで同じはんで活動する「たてわりはん」の取り組み「運動会」や「たてわり遊び」を通して、ちがう学になります。

「運動会」は、「たてわりはん」ごとく3色対こうで行います。上級生が下級生にあきょうぎの仕下級生も楽しめるように、「みんなでつな引きをして楽しい」という2年生といっしょに応えんして熱い気持ちになる」という5このように、「運動会」のよいところは、みんなのところがいいところだと思います。

「たてわり遊び」は、毎月1回、休み時間に「たてわり活動」です。みんなが楽しめるように、6年生が、下級生に聞いたり、ルールをくふうしたりします。例えば、ドッジボールでは、上級生が遠くからボールをいなげるようにしています。

○よくできた問題
漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる問題。特に（ア）は、全国の平均正答率が四割程度に対して、七割以上の児童が正しく漢字を書くことができました。

【高山さんの取材メモ】

「たてわり遊び」について

6年生がくふうしていること

- 遊びたいことを下級生に聞く
- ルールをくふうする

ドッジボール 上級生は遠くから

下級生に聞いたこと

- 1年生 お兄さんやお姉さんと遊
- 3年生 好きな遊びや新しい友達
- 4年生 みんなが楽しそうであ

●あまりよくできなかった問題
目的や意図に応じて、事実と感想、意見を区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができているかどうかをみる問題。三つの条件をすべて満たすように書くところを、二つの条件しか満たしていない誤答がみられました。

— 高山さんは、次の【高山さんの文章】の考えた「たてわり遊び」のよさを書こうとしています。あなたも高山さんなら、に、【高山さんの取材メモ】をもとにして内容をどりより書きましよう。【高山さんの取材メモ】に入る

〈条件〉

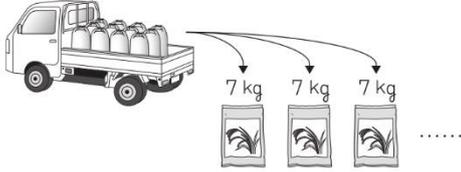
- 「たてわり遊び」のよさについて考えたことを書くこと。
- 【高山さんの取材メモ】の下級生に聞いたことから言葉や文を取り上げて書くこと。
- 六十字以上、百字以内にまとめて書くこと。

【算数】 ○よくできた設問

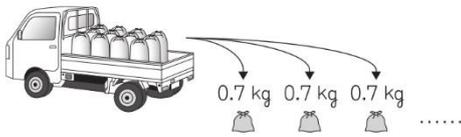
(2) あやのさんたちは、350 kgの米を1人に同じ重さずつ配ると、何人に配ることができるかについて考えています。



1人に7 kg ずつ配る場合を考えます。
 $350 \div 7 = 50$
 50人に配ることができます。



1人に0.7 kg ずつ配る場合を考えます。
 何人に配ることができるのでしょうか。



350 kgの米を1人に7 kg ずつ配る場合と、1人に0.7 kg ずつ配る場合を比べると、どのようなことがいえますか。

下の **1** と **2** と、 **3** と **4** の中から、それぞれ選んで、その番号を書きましょう。

350 kgの米を1人に7 kg ずつ配ると、50人に配ることができます。

1人に0.7 kg ずつ配るとき、配ることができる人数は、
 50人より **1** 多い **2** 少ない です。

$350 \div 7 = 50$ です。

$350 \div 0.7$ の商は、50より **3** 大きい **4** 小さい です。

わる数が小数である場合のわり算において、わる数と商の大きさの関係について理解しているかどうかをみる問題です。350kgの米を配る場面において、一人に7kg ずつ配るときよりも、一人に0.7kg ずつ配るときの方が多くの人に配れることを理解しており、350を7で割るときよりも0.7で割るときの方が商が大きくなることもしっかり理解しています。

●あまりよくできなかった設問

(1) ゆうまさんは、折り紙を72枚持っています。

ゆうまさんが持っている折り紙は、こはるさんが持っている折り紙より28枚少ないです。

こはるさんが持っている折り紙の枚数を求める式を、下の **ア** から **エ** までの中から1つ選んで、その記号を書きましょう。

- ア $72 + 28$
- イ $72 - 28$
- ウ 72×28
- エ $72 \div 28$

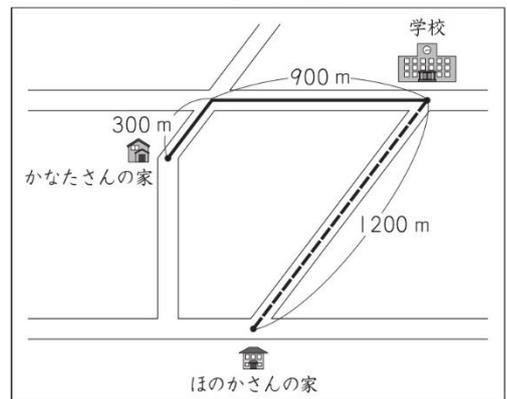
問題場面の数量の関係を捉え、式に表すことができるかどうかをみる問題。「少ない」という言葉から、誤ってひき算を選ぶ誤答が多く見られました。

道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる問題。①2人の歩いた道のりが等しいこと、②時間が短いほど速さが速いことを記述しなければいけないところ、②の方を説明していない不十分な解答が多く見られました。

●あまりよくできなかった設問

(3) かなたさんとほのかさんは、それぞれの家から学校まで歩いて行きました。

家から学校までの道のり



家から学校までの道のりは、上の図のとおりです。

家から学校まで、かなたさんは20分間、ほのかさんは24分間かかりました。

それぞれの家から学校までの歩く速さを比べると、かなたさんとほのかさんのどちらが速いですか。

下の **1** と **2** から選んで、その番号を書きましょう。

また、その番号を選んだわけを、言葉や数を使って書きましょう。

- 1** かなたさん
- 2** ほのかさん